

JB Customer Report

カスタマーレポート

ORPHIS FW 岐阜県内で、実際に機械をご導入いただいたお客様の「生の声」をご紹介します！ 取材：営業部 営業企画推進課

岐阜小学校 様

「心豊かで自ら求め学び合う岐阜小の子」を学校目標に掲げ、岐阜市初のコミュニティスクールとして未来を担う子供達の社会科学習教育に力を入れている岐阜小学校の教頭・石田様に、2018年9月に導入したFW5231についてお話を伺いました。

印刷業務からの開放

岐阜小学校で行う印刷はモノクロが主体で、カラーを使いたい場合は近隣の施設にプリンター等をお借りしてカラー印刷を行っていました。しかし、移動に時間がかかることや刷り増しなどに素早く対応することは難しく、「校内で気軽にカラー印刷ができればどんなに良いか…」と思うことが多くありました。

こんなジレンマを抱えている中で紹介されたのが、カラー印刷が安く速く出来るORPHIS FWでした。1ヶ月間実機を試用させて頂き、カラーで校内印刷や学級通信などを印刷し、「校内のカラー化には必ずORPHISは必要である」という確信に変わりました。そして、働き方改革による教職員の環境改善の後押しも相まってORPHISの導入が決まりました。導入前の準備で、児童のためにどんな印刷が出来るのかを職員が笑顔でああでもないこうでもないとして試行錯誤しながらデータを作成し、ORPHISを待ち望んでいたことを鮮明に覚えています。

ORPHIS導入後は校内でも気軽にカラーが使えるようになりましたので、まず児童のために授業で使うプリントのカラー化を実現させました。特に社会科学習は写真やグラフから情報を読み取ることが重要で、カラー化により視覚的な分かりやすさがプラスαされたことで、児童からも「今までより格段にプリントが見やすい！」という喜びの声も多く上がっています。職員もORPHIS導入で、印刷作業時間のロスが大幅になくなり、印刷という労働から解放され、児童のための時間を作り出すことができるようになっていきます。今では学校のカラー化・環境改革を実現するためにORPHISはなくてはならない機械になっています。

ORPHISだからこそ生まれるアイデア

コミュニティスクールである本校では、その活動の一環として年1回の課外学習「ふるさとふれあいウォーク」を行っており、児童と地域の方が即席の家族となって、地域巡りやその歴史に触れ、人と人との絆を深める活動を強化しています。その活動で使用するため毎年名札の手作り作業があり、厚紙に印刷、カード状に断裁、穴開け紐を通し完成という流れですが、印刷・断裁・後処理の3つの工程に今までは膨大な時間を費やしていました。

しかし、今年からは違います。ORPHISは幅広い用紙に対応している為、名札をシールで作成するアイデアが思い浮かびました。カットシール紙(10面付)で印刷を試してみた所、大量に印刷しても位置ズレがなく、印刷の精密さにも驚かされました。また熱を使わないインクジェット方式なので、熱でシールが剥がれる心配もなく、素早く名札シールを作成することができ、非常に助かっています。ORPHISを導入したことによって新たな工夫が生まれることも、私たち職員にとって負担の軽減と仕事への取り組み方改革に繋がっています。

用紙でも広がる可能性

今までは学校にあるカラープリンターでは印刷が追いつかないため、研究資料や冊子は外注に出していましたが、ORPHISの導入後は研究大会のレジュメの印刷を自製印刷しています。コピー用紙に印刷した際、インクジェットの特長上、裏抜けの心配がありましたが、ジムブレンさんに適正用紙の提案をして頂き、裏抜け軽減や発色など、用紙次第でORPHISの魅力を最大限に引き出せることも知りました。今後は現在外注に出しているPTA広報など、内製化できるものはチャレンジしてみたいと考えています。PTA広報も自分達でアレンジし表紙は光沢紙、中はマット紙と使い分け、自分達の想いを乗せた冊子を作るのも面白そうですね。

ORPHISは学校にとって大きな可能性を秘めている機械ですので、今後も機械・色の使い方に熟知したジムブレンさんには是非色々教えて頂きたいですね。



通信をカラー印刷にしたことで写真も伝わりしやすくなり、見せたい情報がパッと目に留まる印刷物に仕上がっていますね！



同じ機械・同じ印刷物でも、目的に合わせて用紙を変えるだけで印象が変わります！

営業担当者の声

岐阜小学校様の「働き方改革」の役割を担う事が出来、大変嬉しく思います。

またORPHIS導入後、紙を媒体としたコミュニケーションツールを様々な場面で有効に活用していただいているとお聞きし、ORPHIS利用の幅が更に広がると確信しています。

今後も児童・保護者・先生方を「笑顔にする」活動を継続的に行って参ります。

営業担当 尾関 紀彦

